事例No.	1178
公表年度	R2
団体の属性	指定都市
団体名	愛知県名古屋市

事例区分	一般行政

タグ	・教育・子育て ・地域運営組織 ・関係人口

事例種類	木材利用・普及啓発

事例内容・タイトル

森林プロジェクト

出典

森林環境譲与税の取組事例集（令和２年10月）

普及啓発

愛知県　名古屋市（森林プロジェクト）

- なごや環境大学では、森林環境譲与税の活用を通じて、市民への普及啓発や人材育成等、森林整備の促進に向けた取り組みを実施するとともに、持続可能な社会づくりや新たな人づくり・人の輪づくりを推進する。
- 令和元年度においては、以下の取組により、普及啓発活動と人材育成を行った。
  - 名古屋市民を中心として、設楽町の森林をフィールドにした森林管理の現状把握と課題解決に向けた仕組みについて検討するワークショップを実施した。
  - 市民団体等と協働し、森林整備に関連する環境講座を実施し、市民の森林整備について理解を促した。

□ 事業内容

1　森林プロジェクト

- 名古屋市民を中心として、設楽町内の森林をフィールドにした森林管理の現状と課題解決に向けた仕組みについて検討するワークショップを実施。97%の参加者が、環境に関する興味・関心が強まったと回答。

【事　業　費】2,447千円（全額譲与税）

【実　　績】参加者224人（延べ人数）

2　森林整備関連共育講座

- 森林整備に関するESD(持続可能な開発のための教育)の実践・充実・拡大を図るため、市民団体等と協働し、環境講座を実施することで、市民の森林整備に関する理解を促した。

【事　業　費】2,852千円（うち譲与税2,553千円）

【実　　績】参加者2,013人（延べ人数）



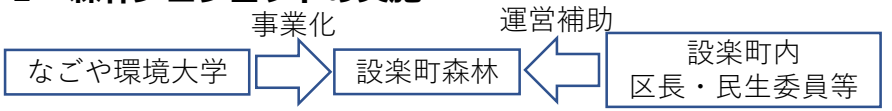
（事業１　森林プロジェクト）



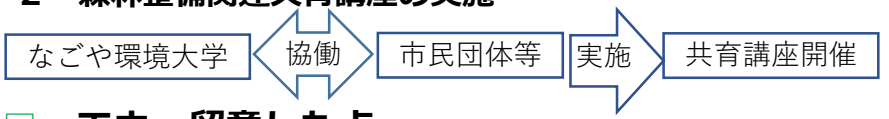
（事業２　共育講座の様子）

□ 事業スキーム

1　森林プロジェクトの実施



2　森林整備関連共育講座の実施



□ 工夫・留意した点

- 設楽産の木材を活用したワークショップを当市で実施することで、当市と設楽町の交流を促進した。
- 事業の様子や参加者のデザイン提案をまとめた活動報告書を発行するとともに、専用サイトでも情報を発信することでプロジェクトの進捗の「見える化」を図った。

◇ 基礎データ

①令和元年度譲与額	89,290千円
②私有林人工林面積（※１）	156ha
③林野率（※２）	3.1%
④人口（※３）	2,295,638人
⑤林業就業者数（※４）	49人

※１：「森林資源現況調査（林野庁、H29.3.31現在）」

※２：「2015農林業センサス」　　※３，４：「H27年国勢調査」